

## 令和2年度予算 教育委員会 主要施策

教育委員会では、市長が令和元年5月に策定した新たな「北九州市教育大綱」に沿って、教育を取り巻く社会状況等の変化や、これまでの成果・課題に対応する「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」を8月に策定した。

このプランに基づき、SDG sの視点を踏まえた教育を拡大・充実し、シビックプライドの醸成を目指すとともに、学校・教職員と教育委員会は、互いにコミュニケーションを図り、目標を共有し、一体となって取組を進めることに加え、家庭、地域、関係部局・市機関等と連携しながら各種施策を着実に推進する。

令和2年度は、①学校ICT環境の整備など新学習指導要領への着実な対応に加え、②不登校等に対する総合的な検討のための有識者会議の開催などにより「安全・安心な学びの場づくり」に取り組むとともに、「学校における業務改善プログラム（第2版）」を着実に推進し、教員が子どもと向き合う時間の確保に向けた不断の取組を進める。

### I 時代を切り拓く力の育成

- 1 子どもひまわり学習塾事業
- 2 子どもの読書活動の推進
- 3 外国語教育の推進
- 4 SDG s 教育推進事業
- 5 小池特別支援学校整備事業
- 6 小倉総合特別支援学校整備事業
- 7 「特別支援教室」設置事業
- 8 医療的ケア児支援事業

### II 働きがいのある学校づくり

- 9 教員の人材確保推進事業
- 10 学校支援のための講師等配置事業
- 11 スクールサポートスタッフの配置事業
- 12 部活動指導員の配置

### III 安心な学びの場づくり

- 13 不登校等に関する総合的な事業の推進
- 14 「チーム学校」運営・推進事業

### IV 市民総ぐるみでの支援

- 15 コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業
- 16 子どもひまわり学習塾事業

### V 未来を見据えた環境整備

- 17 学校ICT環境の整備
- 18 後期中等教育学校あり方検討事業
- 19 学校施設老朽化対策事業
- 20 学校トイレ整備事業

### VI 図書館に関する事業

- 21 八幡図書館折尾分館運営・移転事業
- 22 「北九州市子ども読書プラン」次期計画の策定

教育委員会総務部総務課

担当（富原・猪本） TEL：582-2352

※個別の事業の内容については、各担当課へお尋ねください。（P8参照）

## I 時代を切り拓く力の育成

### 1 子どもひまわり学習塾事業

131,600 千円

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」に加え、モデル校において、パソコン教室でのICT教材を活用した取組を進める。

### 2 子どもの読書活動の推進

413,169 千円

子どもたちが読書に親しむ環境を整え、学校図書館の利用を促進するため、全中学校区及び特別支援学校に学校図書館職員を拡充して配置し、学校における読書活動を一層推進する。

また、新しく整備した「子ども図書館」を拠点として、子どもの読書活動の推進を図る。

<学校図書館職員 56人 → 63人 7人増>

### 3 外国語教育の推進

425,474 千円

(他に債務負担 264,500 千円)

外国語教育を通じて、他者とのコミュニケーション能力を養うため、外国語指導助手(ALT)の効果的な配置等を行う。

小学校においては、令和2年度からの新学習指導要領の全面実施に向け、引き続き、英語に堪能な日本人外国語指導助手(日本人ALT)を配置し、小学校教員の授業力向上を図る。

また、自ら発信し、世界で活躍、貢献できるグローバル人材を育成することを目指し、イングリッシュコンテスト等を開催するなど、コミュニケーション能力向上を図る取組を行う。

### 4 SDGs教育推進事業

8,000 千円

SDGs推進校を指定し、特色ある取組及び実践研究を行うとともに、その成果等を取りまとめて全市に発信し、SDGsの視点を踏まえた教育を拡大・充実する。

また、新学習指導要領に示されている「持続可能な社会を創る担い手」の育成やシビックプライドの醸成を図るため、引き続きSDGsの視点を踏まえた地域教材を作成し、教科等の学習で活用する。

## 5 小池特別支援学校整備事業

839,000 千円  
(他に債務負担 1,529,200 千円)

本市西部地域における知的障害のある児童生徒の増加への対応及び老朽化した校舎・運動場の狭隘化等の課題を解消するため、小池特別支援学校の改築にかかる第1期建築工事を実施するとともに、第2期工事実施設計に着手する。

## 6 小倉総合特別支援学校整備事業

272,364 千円  
(他に債務負担 319,600 千円)

総合療育センターの移転に伴い整備する小倉総合特別支援学校について、既存校舎へのスロープ増築工事及び内部改修工事等を実施する。

## 7 「特別支援教室」設置事業

3,000 千円

支援を必要とする発達障害等のある児童生徒が、通常の学級において授業を受けつつ、必要な時間に障害の特性に応じた特別な指導を受ける「特別支援教室」を拡充して実施する。

## 8 ⑧医療的ケア児支援事業

5,500 千円

児童生徒本人や保護者が安心して学校生活を送れるよう、新たに派遣型の看護師を配置し、日常的な医療的ケア等の支援を行うとともに、関係機関との連携を強化し、緊急時の対応体制を整備する。

## II 働きがいのある学校づくり

## 9 ⑧教員の人材確保推進事業

2,300 千円

全国的な教員不足の課題に対応し、教員の人材確保を図るため、PR動画等を活用した大学等への広報活動を実施する。

## 10 学校支援のための講師等配置事業

560,709 千円

学力向上や長期欠席・不登校対応など、学校の課題や状況に柔軟に対応し、学校運営を円滑に進めていくため、講師等を配置する。

## 11 スクールサポートスタッフの配置事業

223,850 千円

学校現場における業務改善の一環として、教員の負担を軽減し、子どもと向き合う時間を確保するため、スクールサポートスタッフを拡充して配置する。

<97人 → 113人 16人増>

## 12 部活動指導員の配置

17,800 千円

顧問教員の負担軽減と部活動指導の充実を図るため、教員に代わって単独での指導や引率等の業務を行う「部活動指導員」を配置するとともに、地域人材の一層の活用を図るため、NPOに部活動指導業務の一部を委託するなど、部活動の環境整備を実施する。

# Ⅲ 安心な学びの場づくり

## 13 不登校等に関する総合的な事業の推進（うち教育委員会所管分）

254,029 千円

児童生徒の人間関係づくりや小中連携による取組を推進し、長期欠席（不登校）の未然防止を図るとともに、長期欠席（不登校）の児童生徒等への対応のため、「心の専門家」であるスクールカウンセラーや「福祉の専門家」であるスクールソーシャルワーカーなどの専門的人材を学校等へ配置する。

また、本市における不登校等に対する総合的な検討にあたり幅広く意見を聞くための有識者会議を開催する。

（主な事業）

■ 不登校対策等を検討するための有識者会議	1,000 千円
■ 不登校対策の充実	13,249 千円
■ スクールカウンセラーの配置	67,227 千円
■ スクールカウンセラーの拡充	4,400 千円
■ スクールカウンセラー活用による問題行動等防止	75,000 千円
■ スクールソーシャルワーカー活用事業の充実	89,800 千円
■ スクールロイヤーの活用	3,353 千円

## 14 「チーム学校」運営・推進事業

### 【スクールカウンセラー活用による問題行動等防止】

75,000 千円

長期欠席（不登校）の児童生徒への対応や、いじめ・自殺などの諸問題の未然防止を図るため、「心の専門家」であるスクールカウンセラーを配置する。

### 【スクールソーシャルワーカー活用事業の充実】

89,800 千円

貧困や虐待、不登校等への対応を含め、児童生徒の問題行動の背景にある家庭等の問題に対して、関係機関との連携を図りながら支援を行うため、「福祉の専門家」であるスクールソーシャルワーカーを増員する。

＜スクールソーシャルワーカー 15人 → 17人 2人増＞

### 【スクールロイヤーの活用】

3,353 千円

生徒指導上の諸課題等に対する相談対応や学校に出向いて法的助言を行うスクールロイヤーの活用を図ることで、子どもが安心して学校生活を送ることのできる環境を整える。

## IV 市民総ぐるみでの支援

### 15 コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業

60,412 千円

地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていくために、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な推進を図る。

### 16 子どもひまわり学習塾事業

131,600 千円

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」に加え、モデル校において、パソコン教室でのICT教材を活用した取組を進める。

## V 未来を見据えた環境整備

### 17 学校ICT環境の整備

#### (1) 「GIGAスクール構想の実現」に向けた校内通信ネットワーク整備事業

(2月補正予算)

補正予算額 3,200,000 千円

国の「GIGAスクール構想の実現」に基づき学校ICT環境整備を推進するため、国の補助金を活用し、市立小・中・特別支援・高等学校を対象に、高速大容量回線やネットワーク機器等を整備するもの。

(実施予定校)

小学校129校、中学校62校、高等学校1校、特別支援学校8校

#### (2) 教育用タブレット端末整備

111,510 千円

(他に債務負担 616,400 千円)

児童生徒の情報活用能力の育成を図るとともに、QRコード付きの教科書を始めとする双方向型の学習環境の早期実現を目指すため、令和元年度に整備する中学校と特別支援学校に引き続き、全小学校129校にタブレット端末を整備する。

<令和2年度 小学校 129校>

(普通教室用：1校あたり12台 ※大規模校は1校あたり24台)

### 18 新 後期中等教育学校あり方検討事業

1,000 千円

後期中等教育学校（市立高等学校・戸畑高等専修学校）のあり方を検討するにあたり、幅広く意見を聞くための有識者会議を開催する。

### 19 学校施設老朽化対策事業

441,600 千円

※令和元年度2月補正予算(4,333,900千円)と合わせて、4,775,500千円の事業費を計上  
安全で安心な教育環境を整備するため、「北九州市学校施設長寿命化計画」に基づき、大規模改修（長寿命化改修）及び外壁改修などの老朽化対策や安全対策を実施する。

## 20 学校トイレ整備事業

300,000 千円

児童生徒が利用する学校トイレの洋式化を推進するため、改修工事を計画的に実施する。

## VI 図書館に関する事業

### 21 ⑧八幡図書館折尾分館運営・移転事業

13,800 千円

折尾地区総合整備事業にともない移転する折尾分館について、基本設計等に着手するとともに、令和2年度からは、折尾駅周辺の民間ビル内に仮移転し図書館業務を継続する。

### 22 ⑧「北九州市子ども読書プラン」次期計画の策定

4,000 千円

現行の「子ども読書プラン」が令和2年度に終了することにともない、令和2年度中に次期計画（令和3年度～7年度）の策定を行う。

## 教育委員会主要施策に関するお問い合わせ先

	主要施策(事業)名	主担当課
1	子どもひまわり学習塾事業	学力・体力向上推進室 (582-3445)
2	子どもの読書活動の推進	指導第一課 (582-2368) 子ども図書館(571-0011)
3	外国語教育の推進	指導第一課 (582-2368)
4	SDGs教育推進事業	指導第一課 (582-2368)
5	小池特別支援学校整備事業	企画調整課 (582-2357)
6	小倉総合特別支援学校整備事業	企画調整課 (582-2357)
7	「特別支援教室」設置事業	特別支援教育課 (582-3448)
8	医療的ケア児支援事業	特別支援教育課 (582-3448)
9	教員の人材確保推進事業	教職員課 (582-2372)
10	学校支援のための講師等配置事業	教職員課 (582-2372)
11	スクールサポートスタッフの配置事業	教職員課 (582-2372)
12	部活動指導員の配置	指導第二課 (582-2369)
13	不登校等に関する総合的な事業の推進	指導第二課 (582-2369)
14	「チーム学校」運営・推進事業	指導第二課 (582-2369)
15	コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業	指導第一課 (582-2368)
16	子どもひまわり学習塾事業	学力・体力向上推進室 (582-3445)
17	学校ICT環境の整備	学事課 (582-2378)
18	後期中等教育学校あり方検討事業	指導企画課 (582-2367)
19	学校施設老朽化対策事業	施設課 (582-2361)
20	学校トイレ整備事業	施設課 (582-2361)
21	八幡図書館折尾分館運営・移転事業	中央図書館庶務課((571-1481)
22	「北九州市子ども読書プラン」次期計画の策定	子ども図書館(571-0011)